

●予算常任委員会報告

予算常任委員会は市のお金（予算）の使い方を審査します。市全体の一般会計の他に、国民健康保険や介護保険など7事業の特別会計と水道事業会計、下水道事業会計の予算も審査します。また、これらの予算が補正された場合も審査します。

【9月議会での報告】

令和5年度津久見市一般会計の補正について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億117万7000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ141億7294万8000円とする議案が出されました。

主な内容として、まちづくり推進事業補助金は、当初4団体への事業補助金を考えていましたが、7団体の申請があり、審査を行いました。すべての団体が基準点を満たしたこともあり、3団体増やし全部で7団体とし、総額を60万円増額して、140万円にすること。

新型コロナワクチン接種について、令和5年秋開始分の委託料や支援金及び職員手当の費用として4240万4000円、母子衛生費として産後ケア事業の委託料、高校生まで医療費を無償化するための子ども医療費助成金等として613万5000円、商店街等エネルギー価格高騰対策支援事業補助金として6か所の街路灯や看板の照明灯のLED化のための補助金として1200万円、旧自家用自動車協会事務所解体時工事費として1570万円、中学校校舎等整備工事の仮設の配線やグラウンドの整備等の追加費用として8000万円などが提案されました。

水道事業会計の補正について

収益的収支について、収入の予定額に600万円増額をして総額で3億7450万5000円とする提案があり審査をしました。

その内容は、国の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金に伴う水道施設電気料高騰支援に対する一般会計負担金の増額です。